



もっと知りたい 敦賀港の役割

～敦賀市立中央小学校～

平成28年11月1日（火）午前、敦賀市立中央小学校の5年生児童（25名、引率先生2名）による敦賀港の役割・施設等の学習と港湾業務艇「まつかぜ」による港内見学を開催しました。

中央小学校は、総合的な学習の時間「敦賀と五つのわ～敦賀の伝統・ひと・自然を学ぶ～」の一環として、敦賀港の変遷や現状を学ぶことを目的に来所しました。

当所会議室で行われた室課長による講義では、敦賀港が古くから重要な役割を果たし、現在も生活に必要な物資が運ばれていること、防波堤や岸壁など港湾施設の役割などの話がありました。「敦賀港では何を積み卸しているのか、どんな船がどこから来るのか」などの児童からの事前の質問も、講義の中でしっかり学習できたと思います。

港湾業務艇「まつかぜ」による港内見学では、川口技官の説明に少し耳を傾けながら、船上からの港の風景に席を立てて眺める児童もいて、初めて見る岸壁や防波堤にとっても興味を示していました。港内では、コンテナ船や石炭船などが着岸しており、敦賀港を多くの船が利用している様子も見ることが出来ました。

これから敦賀の自然や敦賀港のことを学び、11月26日に総合学習のまとめの発表会が行われるそうです。今日の講義と見学会が総合学習の一助となり、敦賀港に少しでも関心を持ってもらえることを期待しています。



これから港の学習のスタート



真剣に、学習をしている様子



「まつかぜ」による体験乗船の様子



「無事故で下船」お疲れさまでした